

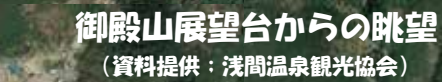
本郷地区

図案は本郷村の村章になった金銅冠をイメージデザイン



御殿山展望台からの眺望

地域学習テキスト



有害鳥獣防護柵



地 勢

本郷地区は長野県のほぼ中央、松本市の東北、筑摩山地の山麓に位置します。面積の83%が山地で、その山地を源とする女鳥羽川は扇状地を作り、里に集落・水田・畑地を形成しています。中心部の浅間温泉は信州まつもと空港から約15km松本駅より約5km、標高は約650mにあります。

■ 面 積	38.28 km ²	
■ 広 さ	東西 約9km	南北 約7.4km
■ 標 高	横田 1 丁目付近599.3m～美鈴湖997m～思い出の丘1,935m	
■ 緯度・経度	(本郷支所付近) 北緯36° 15' 35" 東経137° 59' 21"	

本郷村制施行 明治22年 4 月
松本市制施行 明治40年 5 月
合 併 昭和49年 5 月



松本市 (合併町村)



人 口

(人)

	三才山	稲 倉	洞	原	水 汲	浅 間 (8町会)	南浅間	大 村 (3町会)	横 田 (6町会)	惣 社 (3町会)	合 計
文政1 (1818)	424	441	232	131	131	526	(大村)	234	123	219	2,459
明治22 (1889)	602	525	302	161	149	1,019	(大村)	301	230	331	3,617
昭和25 (1950)	953	731	316	265	280	3,592	227	520	785	461	8,130
昭和48 (1973)	644	527	265	388	767	4,058	1,077	1,437	2,224	1,389	12,776
平成9 (1997)	539	458	271	946	851	4,300	980	2,161	3,393	2,449	16,348
平成27 (2015)	406	378	275	740	770	3,386	761	1,870	3,719	2,711	14,476

行事

4月

春祭り

- 4/29 原 穴田観音堂さくら祭り
5/2～3 大村 大宮神社例祭
社宮司神社例祭
横田 横田神社例祭
惣社 伊和神社例祭



5月

6月

- ・6/上旬 自然体験(育成会)
・6/下旬 ツール・ド・美ヶ原自転車レース



7月

- ・7/上旬 親子ホテル観察会
・7/上旬 美ヶ原高原を歩こう
・7/下旬 ナイターグラウンドゴルフ



夏祭り・納涼祭

- 7/下旬～8/上旬
三才山、洞、水汲、横田1
8/中旬 南洞(ダンボ)、浅間、浅間夕市
南浅間、大村、惣社、横田3-7



8月

9月

- ・9/中旬 本郷地区敬老会(南北、浅間、横田)
・9/中旬 町会対抗マレットゴルフ大会



10月

- ・10/上旬 親子ニューススポーツ(育成会)
・10/15 本郷地区慰霊祭
・10/下旬 町会対抗グラウンドゴルフ

- 9/下旬 惣社、横田3-7
10/中旬 横田1
10/下旬 洞、水汲
稲倉、原
三才山



運動会

11月

文化祭

- 10/下旬 三才山、惣社
11/上旬 洞、原、水汲、大村、横田3-7
11/第2金・土・日 本郷地区
11/中旬 南浅間

12月

- ・12/上旬 三九郎作り講習会(育成会)
・12/23 親子そば打ち教室(育成会)

三九郎

- 1/第2土 三才山(6ヶ所)、稲倉
洞(3ヶ所)、原、水汲
浅間(5ヶ所)
南浅間、横田
1/第2日 大村(2ヶ所)、惣社



1月

2月

3月

- ・上旬 本郷里山トレッキング



- ・4/中旬 美鈴湖開き・へらぶな釣り大会
・4/下旬 美ヶ原高原開山祭
・4/29日 護国神社例祭
・5/中旬 玄向寺ぼたん祭り
・5/下旬 渡来人まつり



- ・6/中旬 萬生物供養祭(浅間)



- ・7/1 水神様(浅間2)
・7/上旬 ホテル祭り(浅間)
・手仕事市(浅間)
・7/海の日 天満宮例祭(浅間)
・7～8月 七夕人形飾り(浅間)



- ・9/中旬 下浅間
薬師堂例祭



秋祭り

- 10/第2土・日 浅間 御射神社(春宮)松明祭り
原 平野神社例祭
10/第2日・月 三才山 御射神社(秋宮)例祭
稲倉 水口神社例祭
洞 住吉神社例祭

- ・11/上旬
浅間温泉新そば祭り
ミステリーウォーク
・11月お十夜念仏(三才山)



- ・1/1 御殿山トレッキング

道祖神祭

- ・1/中旬 三才山、稲倉、横田
・3/中旬 洞



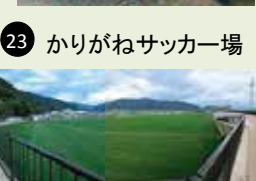
- ・初庚申 だるま市
・2/11 横手の春祭り(浅間1)



- ・3/上旬 八日念仏(大村)

時代	和暦	西暦	主 な で き ご と
弥生			浅間温泉を始め各地から遺跡遺物が出土している。地形・自然環境かつ温泉湧出などからみて原始の人々の生活に適した地帯であった ① 金銅冠レプリカ
古墳	3世紀末 ～7世紀		桜ヶ丘古墳は5世紀中頃のもので松本地方でも最古に属し、県宝の「金銅冠」 ① を出土。その他丘陵の突端・平地に古墳は24基を数える 
飛鳥	天武14	685	天武天皇が束間の湯に行宮を造らしめた記事が日本書紀に見える 浅間温泉か湯ノ原か確証はないが、1300年以前から都に知られていた
平安	初期		信濃の国府が上田から惣社付近に移り鎌倉時代まで政治の中心となった大村には国司塚（古墳）や廃寺跡があって布目瓦等が出土している ② 烏帽子岩 
鎌倉	文治2 正応5 嘉暦4	1186 1292 1329	吾妻鏡に京都の平野社領の荘園として「浅間社」という名称が登場する えぼし岩奥宮 ② は浅間社の奥社。浅間社は神宮寺 ③ を別当寺としている 中国よりの渡来僧円空が大般若経を写経し神宮寺に奉納している 大村の大宮神社、横田神社はこの頃諏訪社となる ③ 神宮寺 
建武	建武2	1335	信濃は北条党との動乱が起き、諸将が浅間宿に集まっている 政治の中心が一時期にあったらしく、館の跡はびわの湯周辺にある 大村にも地頭がいたと思われる「くるわ」がある この頃、小笠原氏の一族の赤沢氏が、浅間郷の地頭として下浅間に居館を構え、諏訪から御射（山）神社を勧請したと言われている ④ 松本城 
戦国	天文19 天正10	1550 1582	戦国時代になると赤沢氏は稲倉に移り稲倉城を初めとして山城を築く 武田信玄が小笠原長時を攻め深志城を占拠（以降30年余支配）その際赤沢氏は井深城と洞山砦（早落城）を攻めいち早く取り戻すことができた 小笠原貞慶が家康の支援を得て武田氏を攻め、深志城を松本城と改名
安土・桃山	天正18 文禄2 慶長12	1590 1593 1607	豊臣秀吉天下統一 石川数正が松本城主となる 石川康長、松本城築造を始める ④ 本郷山の材木や大正山の石が運び出された 浅間御殿新築、芦ノ田池築堤 大音寺三重の塔は九輪を抜かれ大破 石川康長（三長）の主導により芦の田池完工（美鈴湖） 栗和田池の築堤完了 
江戸	元和元 元和4 寛永3 万治2 寛文8 寛文9 貞享2 寛保2	1615 1618 1626 1657 1668 1669 1685 1742	江戸時代に入ると浅間の湯宿も増え、善光寺参りの湯治客や文人墨客が多く訪れ、岡田などの宿場と論争を起こすことがあった 松本城主が保養のために御殿を造る 以後、歴代松本藩主専用の湯、士族の湯、庶民の湯に分けられ、明治時代まで続いた 小笠原秀政・忠脩父子は大阪夏の陣で戦死 戸田氏の家老により大音寺再興、大日堂を建立 「善光寺道名所図会」(1849) 天保年間には、おしんこ餅、温泉饅頭、浅間焼などの名物も生まれた 検地を5年実施。浅間村から浅間・原・水汲に、稲倉村から稲倉・洞に分かれこれまでの三才山、大村、惣社、横田と合わせて9村となる 水野忠職は浅間御殿と湯薬師を新築、御殿山に天満宮を勧請 水野忠職、三才山御射神社秋宮に虚空蔵宮を再興 幟10本寄進する 水野忠直は大村の清光寺を玄向寺と改め山麓に廟所をつくる ⑤ 荒廃していた小笠原家（小笠原貞慶、秀政、忠脩父子）の廟所をつくる ⑥ 浅間横谷沢の山崩。湯坂は大被害を受け集団移住して下浅間ができた ⑤ 水野家廟所  ⑥ 小笠原家廟所 

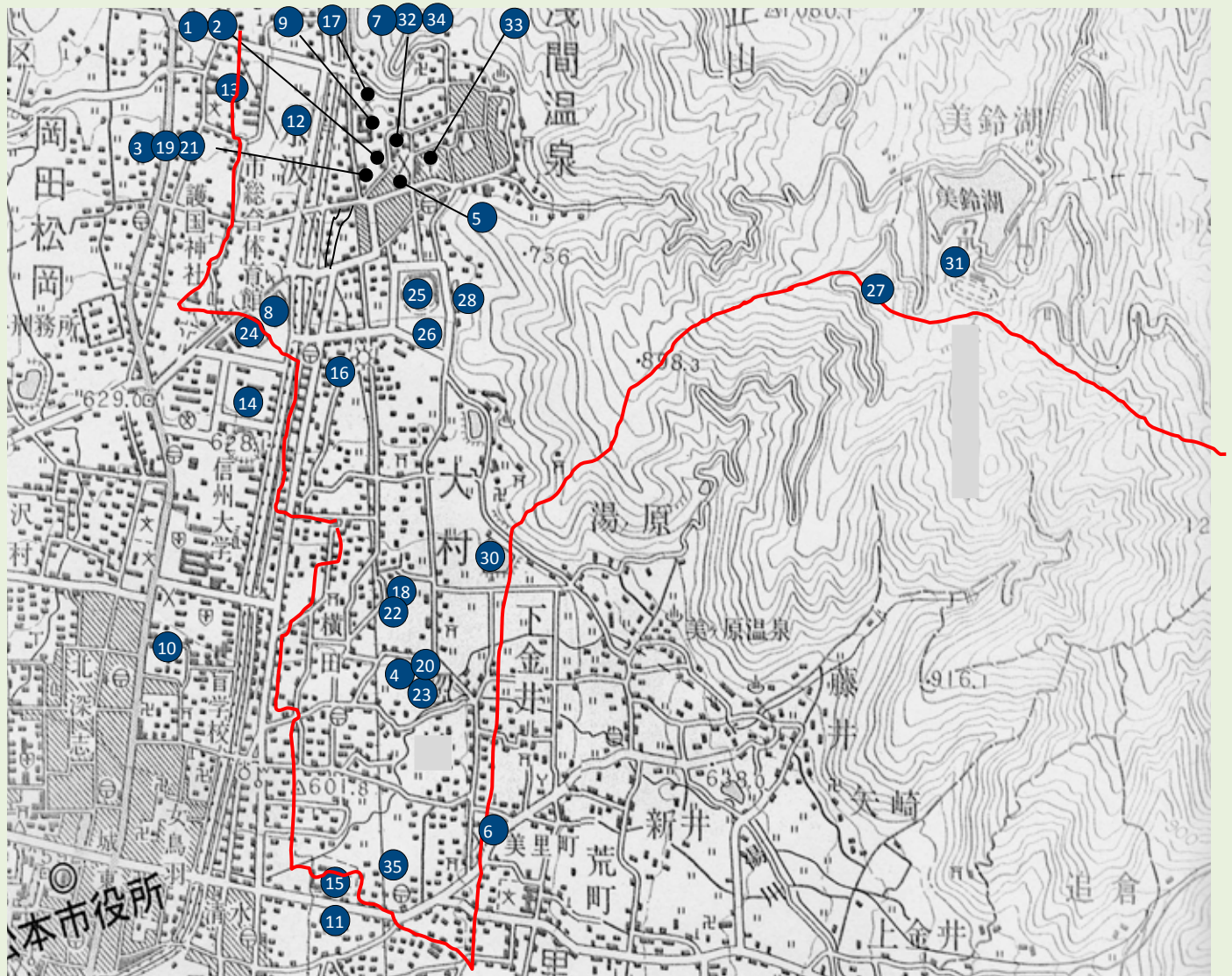
時代	和暦	西暦	主 な で き ご と
明治			明治中期、浅間では蚕種業が盛んになり、県外宿泊客が増えた 浅間温泉は、信州5大温泉としてこの頃より全国に知られるようになった 7 電話開通 
	明治6	1873	寺堂を利用して学校が開設された(三才山、稲倉、横田、浅間学校)
	明治8	1875	本郷の9か村は岡田の4か村と合併して岡本村となる(明治15年まで)
	明治22	1889	本郷村が誕生し浅間に村役場を置く 8 本郷尋常小学校 
	明治33	1899	浅間に電燈がつき、浅間温泉は不夜城のごとしとある
	明治41	1908	松本・浅間間電話開通(桃の湯、目の湯、中村医院) 7
	明治42	1909	本郷尋常高等小学校が開校(本郷、浅間、横田、三稲の4小統合) 8
	明治45	1911	浅間の宿泊料は、一等金1円50銭 昼食料70銭、この年浴客6万人 9 自動車事故(港の湯前) 
大正			大正時代の浅間は、蚕種業の隆盛により活況を呈し、電車の開通で旅館や商店も増え、松本の奥座敷として賑わった 与謝野晶子、伊藤左千夫、吉井勇、萩原井泉水、石井柏亭の歌碑、句碑あり 10 チンチン電車開通(浅間温泉駅) 
	大正6	1917	松本-浅間間10人乗り乗合自動車運転 浅間で県下初の自動車事故発生 9
	大正11	1922	浅間橋完成(県下初の鉄筋コンクリート橋)
	大正13	1924	筑摩鉄道浅間線(チンチン電車)が敷かれ営業開始 10 浅間は温泉旅館と蚕種業兼業から温泉旅館へと発展
	大正15	1926	県営野球場、県営運動場が県下で初めてつくられる 六助池で第1回日本学生氷上選手権開催される
昭和			第2次世界大戦中は、浅間温泉に東京から疎開児童を受け入れた 戦後の発展に伴い、浅間は活気づく。 昭和49年に本郷村は松本市と合併、新たなスタートを踏み出した 11 浅間に競馬場 
	昭和3	1928	本郷小学校内に本郷図書館が置かれる
	昭和4	1929	浅間節発表(野口雨情作詩 中山晋平作曲 歌:小杉真貴子)
	昭和6	1931	松本競馬場(庭球公園の南)春・秋の開催期間は浅間の旅館は満館 11 戦争による軍馬資源保護法の制定により昭和13年秋で廃止となる この頃、浅間の地本屋の南側に25m温泉プールができ昭和35頃まで営業 12
	昭和7	1932	土引山の先端に桜を植え「桜ヶ丘」と名付け桜の名所となったが、 後に戦争が始まると食料をつくるために伐られた
	昭和9	1934	県野球場でアメリカ野球団ベールブルース、ゲーリックらと交歓試合する
	昭和11	1936	村内の旅人宿業17、湯屋2、温泉内湯業41、貸座敷業16 貸切自動車18台、芸妓置屋39 芸妓79人
	昭和12	1937	本郷小学校に二宮尊徳像
	昭和16	1941	浅間線の駅名が軍の要請により連隊裏から三軒屋へ改称 太平洋戦争開戦
	昭和19	1944	本郷地区親睦運動会(平成10年まで続く) 13 浅間の旅館は廃業閉鎖、学童疎開受け入れ(東京都世田谷区 東大原国民学校 太子堂国民学校 代沢国民学校 駒繁国民学校 山崎国民学校 二子玉川国民学校 第一師範付属 2,498名) 14
	昭和20	1945	出撃のため滞在中の特攻隊員と疎開児童との交流があった 15 8月終戦
	昭和22	1947	新学制実施により本郷村立本郷小学校と改称
	昭和23	1948	浅間に集団腸チフス流行

時代	和暦	西暦	主 な で き ご と	
昭和	昭和26	1951	本郷村・岡田村中学校組合立 女鳥羽中学校設立 ¹⁶ 公民館活動始まる 11月14日から3日間本郷村総合文化祭	
	昭和28	1953	芦の田池を美鈴湖と改称 この頃、浅間温泉で映画ロケ、高島忠夫や久保菜穂子ら訪れる	
	昭和30	1955	美ヶ原観光KK設立、浅間一武石間林道工事完了 美鈴湖観光開発 浅間温泉スキー場開発	
	昭和32	1957	新浅間温泉開湯(後に横田温泉 8軒→3軒 玄向寺北から引湯) 国鉄バス、浅間温泉から武石林道に運行開始 翌年から天狗の露地まで運行	
	昭和35	1960	浅間温泉芸苑組合(昭和29～)検番制度設ける 本郷高等学校設立(昭和59年に松本第一と改称) 国民宿舎美鈴荘(レイクサイド美鈴～H22) 第15回国体スケート大会 美鈴湖で開催、国体史上初の村開催 天然リンクで有名となる 三稲分教場は、浅間温泉スキー場宿舎として払下げられる ¹⁷	
	昭和38	1963	浅間温泉火焰太鼓保存会発足	
	昭和39	1964	電車浅間線廃線、バス運転となる 美ヶ原ハケ岳中信高原が国定公園に指定される 美ヶ原モーターロッジ竣工 美ヶ原登山マラソン始まる	
	昭和42	1967	本郷村役場新築 本郷幼稚園開園 殉国学徒慰霊塔建立	
	昭和44	1969	浅間温泉国際スケートセンター完成(～H23) ¹⁸ 金銅冠県宝指定 村章となる	
	昭和45	1970	本郷小学校全面新築 第25回国体スケート大会、浅間温泉国際スケートセンターと美鈴湖で開催	
	昭和49	1974	本郷村松本市と合併	
	昭和50	1975	松本社会文化会館竣工 本郷南幼稚園開園	
	昭和51	1976	三才山トンネル開通 ¹⁹ 南浅間が大村から分かれる	
	昭和53	1978	第33回やまびこ国体スケート大会、浅間温泉国際スケートセンターで開催	
	昭和62	1987	かりがね運動場・自転車競技場、浅間温泉会館(ホットプラザ浅間)竣工	
	昭和63	1988	本郷地区こども会若獅子太鼓発足	
平成	平成元	1989	各町会で「ふれあい会食会」始まる 松本カントリークラブ開設	
	平成3	1991	市野球場 ²⁰ が完成、市総合体育館・県松本文化会館が建てられる	
	平成6	1994	本郷支所・公民館・図書館が現在の場所に新築移転	
	平成7	1995	本郷合併20周年記念式典開催される のぼら保育園、福祉ひろば、児童センターの複合施設完成 本郷地区新年会、本郷地区慰霊祭がこの年から始まる	
	平成8	1996	本郷体育館竣工	
	平成12	2000	第1回ツール・ド・美ヶ原自転車レース開催 ²¹	
	平成14	2002	大規模山林火災発生、山林約176㌔を焼く ²²	
	平成20	2008	南郷保育園、南郷福祉ひろば、南郷こどもプラザの複合施設竣工	
	平成22	2010	桜ヶ丘古墳出土品 甲冑等副葬品63点が県宝指定となる	
	平成27	2015	かりがねサッカー場 ²³ 下浅間広場竣工 美鈴湖自転車競技場 ²⁴	

施設

官公庁	① 本郷支所・公民館 【平6】 46-1500 浅間温泉2-9-1	② 本郷図書館 【平6】 46-1262 浅間温泉2-9-1	③ 本郷福祉ひろば 【平7】 46-1168 浅間温泉2-9-2	④ 南郷福祉ひろば 【平20】 32-6270 横田3-23-1
	⑤ 浅間温泉交番 【昭29】 46-1944 浅間温泉2-5-3	⑥ 惣社交番(※) 【平15】 32-0637 里山辺380-4	⑦ 本郷消防署 【平12】 46-2700 浅間温泉2-6-1	⑧ キッセイ文化ホール【平3】 34-7100 水汲69-2
教 育	⑨ 本郷小学校 【昭22】 46-0495 浅間温泉2-9-5	⑩ 旭町小学校(※通学区) 34-1124 旭2-4-4	⑪ 清水小学校(※通学区) 32-1210 清水2-8-18	⑫ 東部給食センター 【平21】 45-1120 原7-1
	⑬ 女鳥羽中学校 【昭26】 46-0285 原1085-2	⑭ 旭町中学校(※通学区) 32-1124 旭3-7-1	⑮ 清水中学校(※通学区) 32-2078 清水2-7-12	⑯ 松本第一高校 【昭59】 46-0555 浅間温泉1-4-17
	⑰ 本郷幼稚園 【昭42】 46-1876 浅間温泉2-12-15	⑱ 本郷南幼稚園 【昭50】 35-5165 横田4-25-2	⑲ のばら保育園 【平7】 46-1877 浅間温泉2-9-2	⑳ 南郷保育園 【平20】 32-5456 横田3-23-1
	㉑ 浅間児童センター 【平7】 46-0605 浅間温泉2-9-2	浅間児童センター 浅間つどいの広場		㉒ 南郷児童館 【昭50】 36-1006 横田4-25-1
ス ポー ツ	㉔ 松本市総合体育館【平3】 32-1818 美須々5-1(※)	㉕ 松本市野球場 【平3】 46-5555 浅間温泉1-9-1	㉖ 浅間温泉庭球公園【平3】 46-6398 浅間温泉1-9-2	㉗ 美鈴湖もりの国 【平7】 46-9990 三才山1871
	㉘ 本郷体育館 【平8】 45-9511 浅間温泉1-40-10	㉙ 稲倉ふれあい広場 【平9】 45-9511 稲倉8074-1 (15頁)	㉚ かりがねサッカー場 【平27】 32-3230 惣社325	㉛ 美鈴湖自転車競技場【平27】 46-0036 三才山1830
他	㉜ 浅間温泉観光協会【昭34】 46-1800 浅間温泉2-6-1	㉝ ホットプラザ浅間 【昭62】 46-6278 浅間温泉3-16-2	㉞ 浅間温泉文化センター【平12】 46-2654 浅間温泉2-6-1	㉟ 惣社公園 【平24】 34-3254 惣社600-1

上段は施設名、(※)は本郷地区外にある施設、【 】は開設年。下段は電話番号と住所。



本郷地区文化財マップ

(資料提供:本郷地区景観整備委員会)



洞 ダンボ
 盆に子供たちが集まって、「洞火」「送り火」として妻の家の火をつけて振りまわす行事



三才山 お神楽



浅間 松明祭り



大村 舞台

美ヶ原温泉



惣社 お節

浅間温泉周辺

- 三才山城图

横田周辺

- 横田神社・常夜塔・横田道祖神
- 念仏寺跡・念仏塔・庚申塔・五輪塔
- 横田池跡・弁天様の池
- 郷倉跡
- 松本藩御用屋

10

美鈴湖

3 美鈴湖(芦の田池)



松本市内最大の人造湖。
松本城主石川康長の主導によって、慶長2年(1597)に農業用水として着工し、同12年完工。
昭和18年(1943)大改修に着工し、同26年完成。同28年美鈴湖と改称。面積9.6ヘクタール。
昭和35年に第15回国体スケート大会開催され、天然リンクの名で全国的に有名になった。

5 全国学徒英霊慰霊塔



第2次世界大戦に際し、学業半ばにペンを持つ手に銃を取り、祖国と世界の平和を願い雄々しく散った若き学徒の霊に捧ぐとの趣旨で建立された。
白く真直ぐな塔列は規律正しい隊列を組み、銃を肩に出陣する若者の群を表している。
英霊の心と残された者の心を繋ぐ不朽の絆を形に表した。

三才山

6 えぼし岩奥宮



古代の浅間社の奥宮で平安末期以来この様な奇形をした岩は、神が宿る磐座として信仰が厚い。
この岩は本郷山の奥深く、本沢と中の沢との間にある山の峰に高く位置し、女鳥羽川の源流も近くから源を発している。
そのため水神とし、又山の神として流域にある関係神社の頂点にあり、古くからの雨乞いの神。

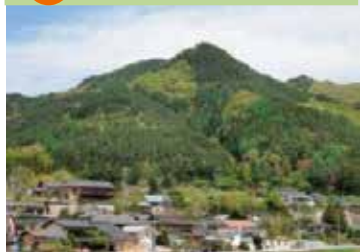
10 御射(みさ)神社秋宮



古くは浅間社と呼ばれ、浅間郷(本郷6ヶ村の三才山・稲倉・洞・原・水汲・浅間)で本郷山と女鳥羽川を祀る社で、烏帽子の前山。建武2年(1335)赤沢氏により諏訪から御射神社を勧請合社して御射神社秋宮となった。
虚空蔵宮は松本城主水野氏が鬼門除けとして再興。
他に子安宮を祀る。

稲倉

21 稲倉城跡(松本市史跡)



稲倉城は山城で、室町時代初めから戦国時代末期の天正11年(1583)まで、浅間郷の領主であった赤沢氏の本城である。
城は、稲倉北方の尾根約500mにあり、急峻な岩壁と空堀を擁している。主廓は標高約1000mで、南西に5段をつけ大堀に達し、副廓は西斜面に曲輪が発達し、更に南に物見台、下に居館跡がある。

27 水口神社



稲倉と岡田方面の開発のため、女鳥羽川から揚水する大口堰(岡田堰)の堰口に建てられた女鳥羽川を祀る水神。
平安時代の延喜式にのる岡田神社はこの社。
明治44年御射神社秋宮に合社され、遥拝所となる稲倉学校が一時設置される。

洞

34 早落(はやおとし)城跡



中世、赤沢氏(稲倉城主)の支城で洞城と言ったが、小笠原氏は奪って岡田郷の井深城主後序氏に与えた。天文19年(1550)武田氏が林城を攻略した際に赤沢氏はいち早く攻め落としたので、早落城と呼ばれるようになった。赤沢氏は家臣の林氏に守らせたが、天正10年(1582)に廃城。尾根に3つの廓と4条の空堀が残る。

35 住吉神社



早落堰取入口の水神。
大阪の住吉神社を勧請。
社殿は明治44年官命により御射神社春宮に合社され、戦後本郷小学校奉安殿(御真影と教育勅語を安置)を移して再興される。
境内に耳きき様を祀り、小穴のあいた皿が多数奉納されている。

原

44 平野神社



平安時代に本郷・岡田が京都の平野神社の荘園であった頃の創建。明治44年神社合併の官命により御射神社春宮に合社され、古い棟札4枚がある。本殿は秋宮に移されたが、昭和17年本殿を新築し再び京都から勧請される。女鳥羽川に東面し、川水の豊富を祈っている。江戸時代の祭日は水無月の旧6月15日。

49 穴田の観音堂・常光寺跡



この堂は、現在より東方約300mの山麓にあったが、大破したので宝暦11年(1761)現地に再建。
この堂はこの東側にあった有福山常光寺(曹洞宗で井深の慶弘寺の末寺)に付属した堂で、元禄時代にあった6間3間の本堂は、文久2年(1862)に焼失。本尊聖観音は江戸初期の秀作。松本33番札所の28番で御詠歌がある。

水汲

55 水汲阿弥陀堂跡



墓地の北側に堂があり、元禄16年(1698)の書上帳に『阿弥陀堂跡、但し堂は御座無く、客殿有り、南向き…』とある。
その後に客殿も廃されて水田となる。
現在、墓地の入口には念仏塔や地藏や馬頭観音などがある。

57 水汲疱瘡神社



古くから水汲で祀った疱瘡神。
明治12年神社明細帳に載り『祭神宇伽之神保倉神 拝殿2間2間、境内56坪 信徒30戸…』とある。
昭和40年頃までは4月に幟を立て盛大に祀った。
社前に享保17年(1732)と嘉永4年(1851)の青面金剛庚申塔。優れた道祖神が建つ。

浅間温泉

67

神 宮 寺



平安時代末に浅間社の別当寺として創建された真言宗の寺。室町時代に臨済宗、江戸初期に京都の妙心寺派となる。

江戸末から寺小屋(学校)が開設され廃仏毀釈の難を逃れた。

薬師堂は昭和33年に平安時代の御堂建築を模して新堂が新築され、本尊薬師如来(市重要文化財)は平安後期の古仏である。本堂は昭和36年に再建された。

68

御射(みさ)神社春宮



830年以上も古くから浅間社と呼ばれ、神宮寺と本郷6ヶ村を社領とする大社。

その後浅間の地頭赤沢氏が諏訪から御射神社を勧請したので御射神社春宮となる。

松明祭りは虫送り行事から起こり、三才山の秋宮から押鉾に乗せてきた神様を、夜松明の灯火で送る行事であり、昼の押鉾がお祭りの主体。

浅間温泉

69

御殿山小笠原家廟所



松本市史跡

松本城の基礎を築いた初代小笠原家の城主小笠原貞慶、秀政・忠修父子を祀った廟所。

特に忠修の遺骨が埋葬されている。五輪塔は向かって右より秀政、貞慶、忠修。現在の五輪塔は貞享2年(1685)松本城主水野忠直によって建立された。また当時の御霊屋は天保12年に焼失したままで、石垣を残すのみである。

70

御殿山天満宮



松本市重要文化財

万治2年(1659)9月松本城主水野職は安曇郡大野川の大樋山より多量の白銀が発掘されたのを祝福祈念して浅間御殿を改修し、御殿の裏山に守護神として天満宮(祭神菅原道真)を勧請した。松本城主はこの宮を文教の祖神とした。

本殿は創建当時の様式が残っており優れている。水野氏の紋が刻まれている。

南浅間

100

大輔原(たいほうばら)遺跡



大輔原遺跡は、北は第一高校から南は元町までにわたり、平成元年から8回の発掘調査により、7～9世紀の遺物や集落跡が発掘された。

建物跡や、役所で使用したと思われる硯、緑釉陶器、帯金具等が出土している。国府に関連した役所や施設があったかもしれないと言われる。

101

国 司 塚



寛文5年(1665)の検地帳には、国司塚地名の畑が1町9反(1.9ha)ある。塚に2説ある①古墳②台風で国府庁舎が倒れ圧死した信濃守紀文幹の塚。小社があり、江戸時代は6月15日に祭典が行われた。

国司塚は大村の大宮神社の奥社で昔から大村の人々に大切に保存されてきた。

惣 社 (そうざ)

105

地 蔵 堂



惣社公民館の脇にある。地蔵堂は元禄時代には2間3間の板葺きの建物だった。

本尊は1尺3寸の古仏。

近くには弘化2年(1845)の六地藏、寛政9年(1797)の念仏塔、元文5年(1740)の庚申塔、宝暦8年(1758)の釈迦如来などの石造文化財がある。

110

伊和神社と大ケヤキ



現在の惣社という集落名は信濃国府の総社があった地ということであつたものであろう。

また、伊和神社の社名については、諸説がある。鳥居の両側に立つ大ケヤキは推定樹齢千年と言われ、この神社の古さを物語っている。

大 村

114

玄向寺(松本市名勝境内)



約450年前下浅間に創建された念仏の寺。江戸初期に現在地に移り、松本城主水野氏の廟所となり玄向寺と改称。

境内には水野氏歴代の墓、女鳥羽観音堂、信濃百番観音、槍ヶ岳開山の幡隆上人立像、上人書の念仏塔等がある。

ぼたんが有名で、約120種800株、開花時期も長い。

118

大宮神社



鎌倉後期この地が諏訪大社造営の筑摩、安曇の筆頭郷であったとき、この地の鎮守として祀られたものであろう。

元禄11年(1698)の神社仏閣改帳には諏訪大明神、明治に大宮神社。この地で圧死した信濃守紀文幹の霊が合祀されたという。国司塚の氏子の範囲は、大村のうち上村分だけ。

横 田

126

横田神社



元禄11年(1698)書上帳には諏訪大明神とある。祭神は建御名方命、元禄3年(1690)に建立。

本殿の作りは良い。拝殿内に俳句や健勝祈願の奉額がある。また、木製の陰陽を形どった道祖神がある。

128

横田池跡・弁天様の池



古くから池があり、村民はここに弁天様を祀った。弁天様の湧水を利用して安政3年(1856)から2年間の工事で面積1町2反余の用水ため池の横田池が完成。昭和56年廃池され運動場となる。

横田池跡碑は弁天様の池にあり、同年横田財産組合で建立、文学博士所三男の書。

みさやま 三才山

三才山公民館
(夏祭り:流しそうめん)



マスつかみ



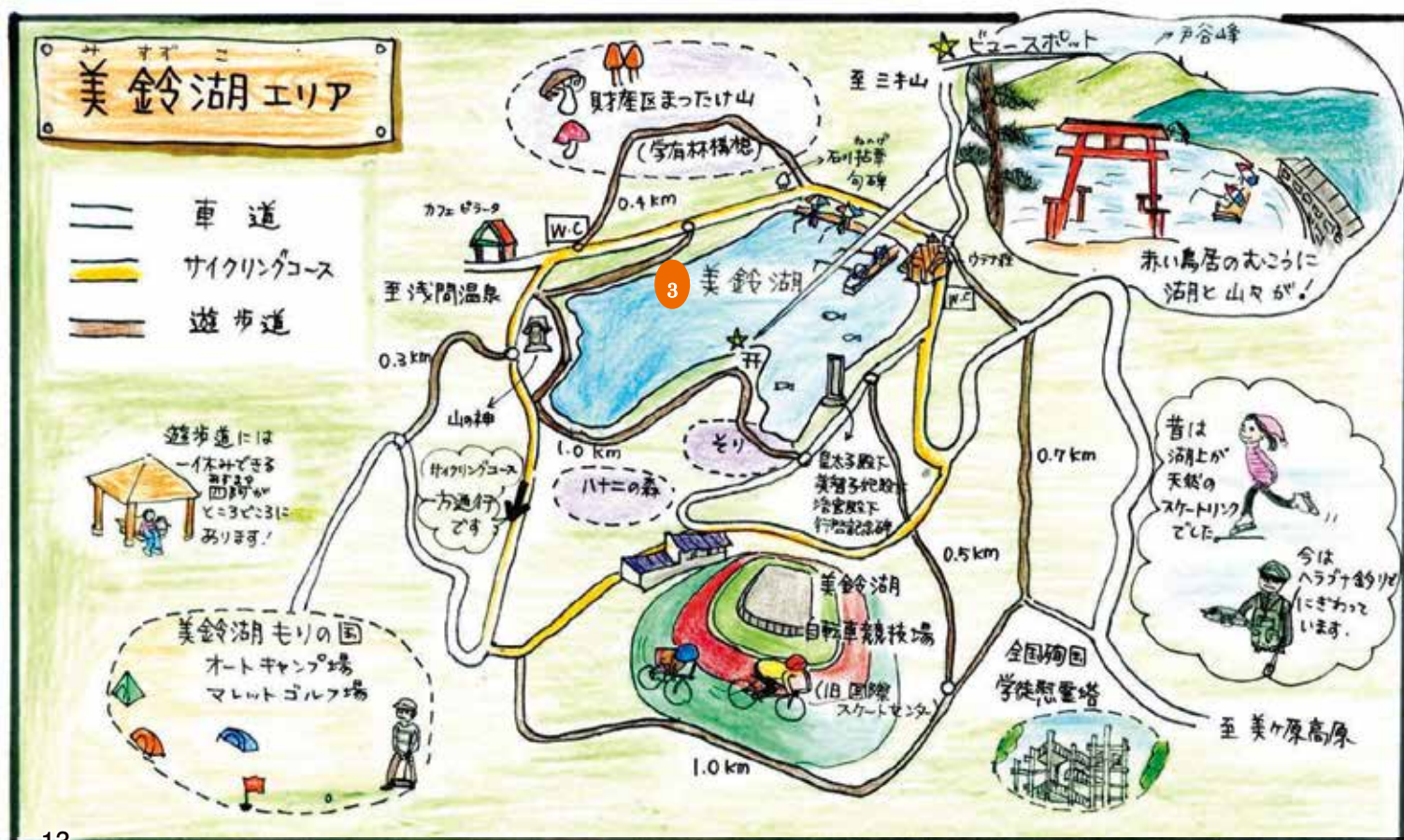
運動会



文化祭 (お神楽)



三九郎



トレッキングコース紹介

各コースにある★印はそのコースの難易度を大まかに示したものです。個人差がありますので、あくまでも目安としての参考にしてください。

★1個＝気軽に楽しめる初級者コース ★★2個＝気軽に楽しめる初・中級者コース ★★★3個＝中級者コース
★★★★4個＝アップダウンがある中・上級者コース ★★★★★5個＝注意が必要な上級者コース

凡 登山道・遊歩道 ▲ピーク 〇ポイント
★ おすすめのポイント トイレ
P ビューポイント P 駐車場

1 戸谷峰コース ★★★★★ 約6.9 km

・一の瀬～戸谷峰コース ★★★★★

三才山一の瀬から登るコース。戸谷峰へ最短で登ることができます。落葉樹が多く、紅葉のころは一面が黄色いじゅうたんで見られます。

・金山町～戸谷峰コース ★★★★★

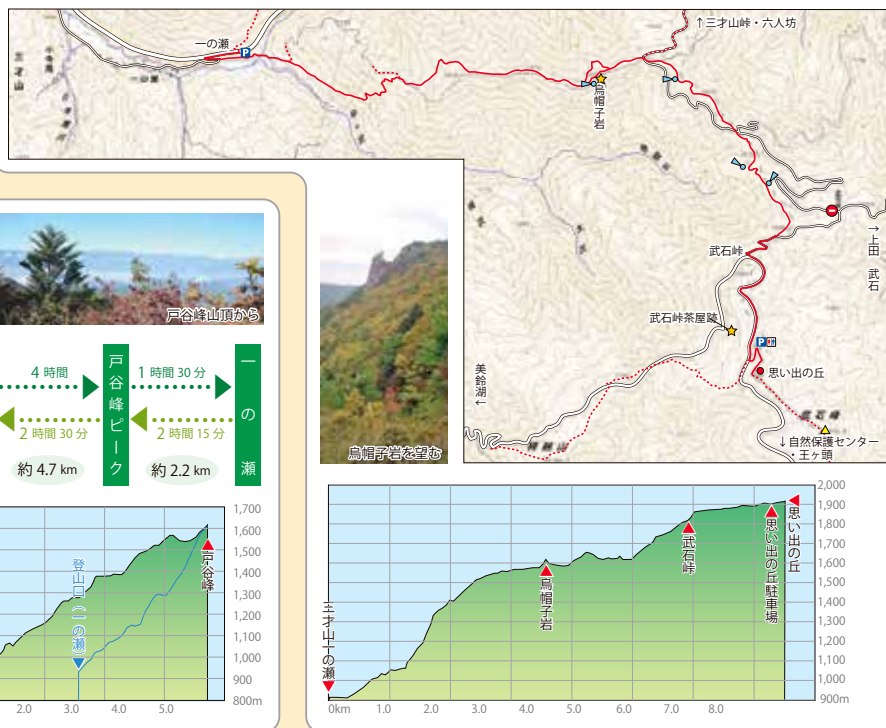
金山町から登るコース。入口はゴールデンキャスルが目印。道は林道を再整備したもので、道幅は広がっています。尾根に出たら、アップダウンが続きます。ビューポイントからは美鈴湖を眼下に見ることができます。



2 烏帽子岩コース ★★★★★ 約7.5 km

・三才山一の瀬～烏帽子岩～武石峠・思い出の丘

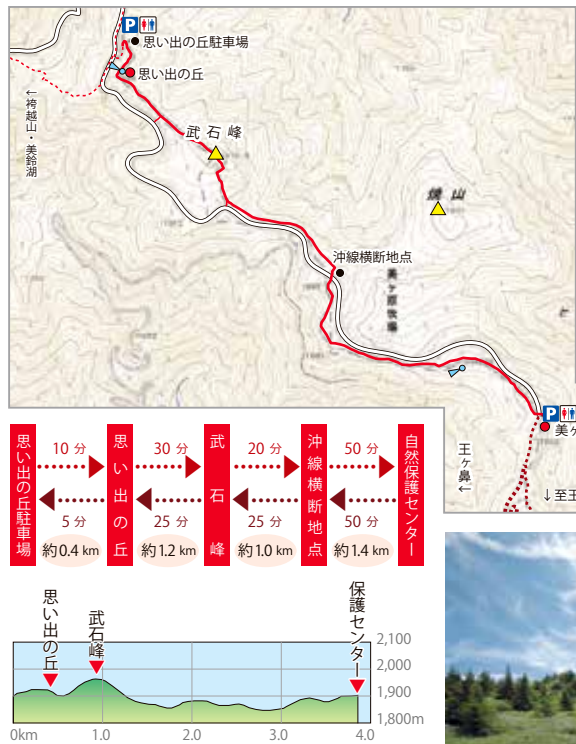
三才山一の瀬から烏帽子岩を経由して武石峠・思い出の丘に至るコース。烏帽子岩やその先の林道は北アルプスを望む隠れたポイントとなっています。烏帽子岩は近くに行くとその大きさがよく分かります。日本全国に烏帽子岩と呼ばれるものはありますが、この岩は3本の指に入るといわれているほど見事な景観となっています。



3 武石峰コース ★★★★★ 約4 km

・思い出の丘～自然保護センター

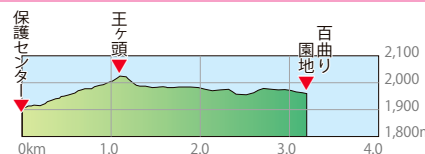
コース全体を通して遊ぶ木が少なく、西に北アルプス、東に浅間山と景観に優れたコースです。レンゲツツジの一大群生地でもあり6月中旬には、一面が美しい朱色に染まります。



4 美ヶ原台上コース ★★★★★ 約5.8 km

・自然保護センター～百曲り園地

保護センターから王ヶ頭までは、天狗の露路を経て遊歩道を登っていきます。王ヶ頭から先のアルプス展望コースは南北アルプス、天気が良ければ富士山も見える絶景のコースです。
※地図中の烏帽子岩は【2 烏帽子岩コース】の岩とは異なります。



安全にトレッキングを楽しむために

美ヶ原高原ロングトレイルは豊かな自然の中に設置されています。魅力あふれる自然は一方で事故や遭難などの危険も潜んでいます。ロングトレイルでの安全管理は、歩道を歩く皆様一人一人の責任で行ってください。



洞公民館

運動会・文化祭

ホテル祭り

キャンプ

夏祭り・ダンボ

浅間カントリーから



穴田観音堂
桜まつり



女鳥川
生物観察会 (長寿橋)





原



運動会

文化祭



卓球大会

三九郎



町会花づくり (女鳥羽川沿い)



55 水汲阿彌陀堂跡の石仏群



57 水汲沓沓神社周辺



夏祭り (青山様 ぼんぼん)



あさま 浅間温泉

大音寺山遊歩道からの眺望



御射神社蚕玉祭り

浅間温泉たいまつ祭り

温 泉



温泉入浴体験学習

本郷文化祭



敬老会



浅間温泉文化センター



浅間温泉火焰太鼓



本郷子ども会若獅子太鼓



横手の春祭り(第一町会)



渡来人まつり



手しごと市



浅間温泉夏まつり



浅間温泉夕市



浅間温泉新そば祭り



浅間温泉広場



御殿山トレッキング



大音寺山遊歩道整備



ホテル観察会



浅間温泉だるま市(初庚申)



三九郎(女鳥羽川)



ツール・ド・美ヶ原自転車レース



浅間温泉
散策マップ

19



ウォーキングコース

浅間温泉街 → 神宮寺 → 御射神社 → 小笠原廟所 → 天満宮
→ 温泉師 → 西宮恵比寿神社(不動院) → 浅間温泉街

陸軍抜群の トレッキングコース

● 天満宮 ● 小笠原廟所 ● 浅間温泉街



浅間温泉たいまつ祭り

浅間温泉に古くから伝わる奇祭で、御射神社秋の例祭。五穀豊穡と人々の安泰を願い、里の春宮におられた氏神様が、採り入れ後の麦わらでつくったたいまつのに乗って、4kmほど奥の秋宮に帰られるという奉納行事です。毎年10月上旬に実施。

そうざ
南浅間・大村・横田・惣社

南浅間公民館

納涼祭



101 国司塚

100 大輔原
児童遊園

念仏供養塔



水野家廟所

信濃百番観音

114

玄向寺



松本平最古の石鳥居

仁王門



幡隆上人立像

ぼたん祭り



尊農ノ郷

鉾持社



蚕影神社



雁金池跡



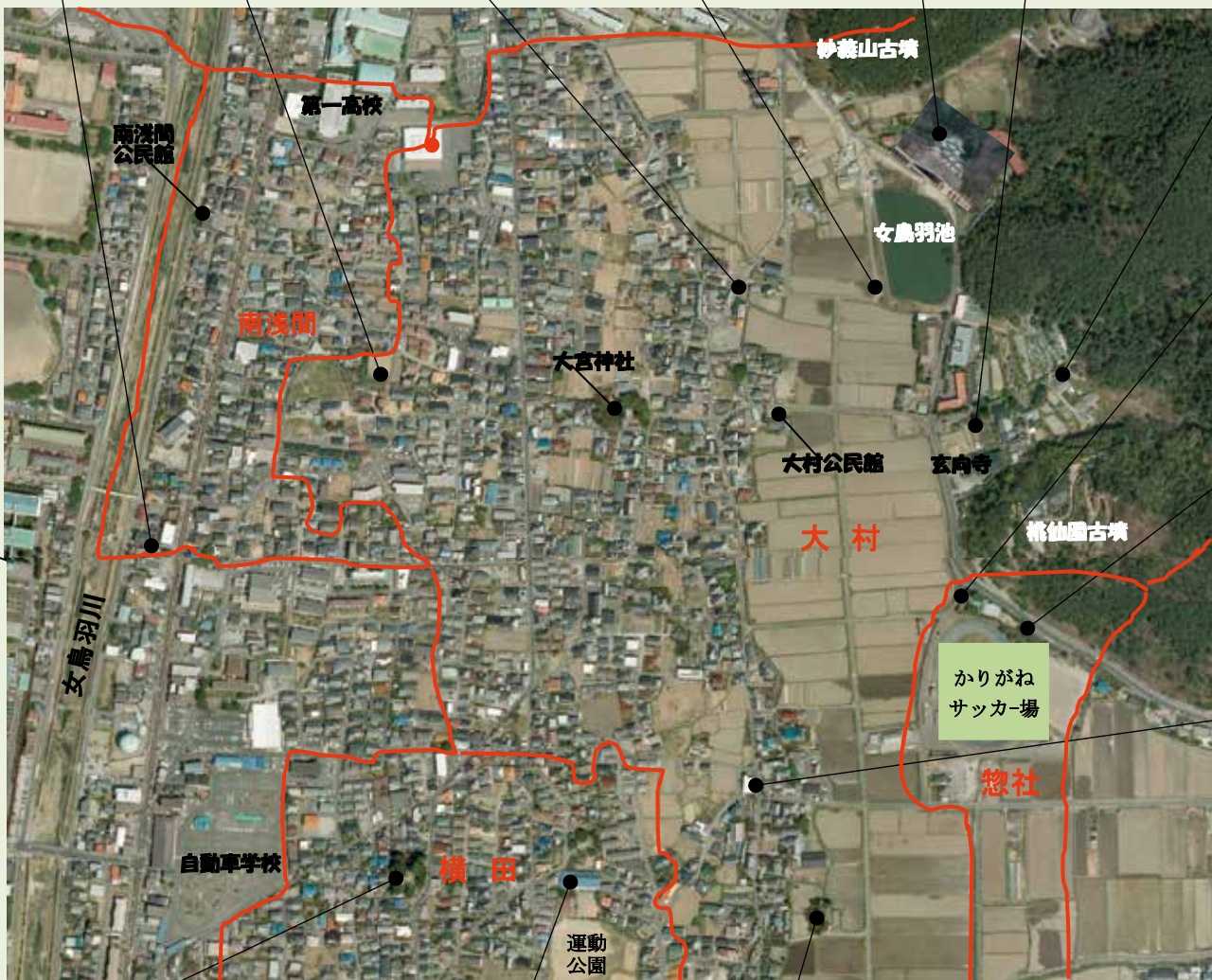
光明真言供養塔



念仏供養塔 火の見



清水井戸
(大村公民館前)



第一高校

南浅間
公民館

南浅間

大宮神社

大村公民館

玄向寺

大村

柳仙園古墳

かりがね
サッカー場

惣社

自動車学校

横田

運動公園

126 横田神社



稲荷神社



念仏寺跡石造物



118 大宮神社



弁天様の池



本郷南幼稚園



南郷児童館



横田池跡碑



社宮司社



大村公民館



文化祭



田園マレットゴルフ



納涼祭



八日念仏



三九郎



横田公民館

(第3・5・6・7町会)



敬老会



夏祭り



文化祭



運動会



三九郎



惣社公民館



文化祭



青山様



納涼祭



運動会



三九郎



南郷保育園・こどもプラザ
南郷福祉ひろば



105

地蔵堂



110

伊和神社



けやき



お祭り



横田第1公民館



運動会



納涼ビール大会



健康講座



青山様・ぼんぼん



町会花づくり



横田第2公民館

(公民館の建物は無い)

湯川一斉清掃



防災図上訓練



防犯パトロール



青山様・ぼんぼん



平成 27 年 9 月 松本市本郷地区地域学習テキスト作成委員会 【本郷公民館 浅間温泉 2-9-1 ☎46-1500 FAX45-1014】

■委員長： 新納睦夫 ■副委員長： 喜多久実子 ■委員： 笠原由次 月岡温 姥貝勇 野本道夫 春日三千郎 澤木明美

◆本郷公民館： 館長 瀧澤政二 主事 竹内則義

資料提供： 本郷地区景観整備委員会 本郷歴史研究会 浅間温泉観光協会

<イラスト> 喜多久実子 <切り絵> 松崎明美

<印刷> 藤原印刷株式会社



蝶ヶ原林道からの眺望(北アルプスの峰々と烏帽子岩)



本郷公民館

毎年6月、浅間温泉街を通過して美ヶ原を目指す自転車レース「ツール・ド・美ヶ原」